

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成27年2月17日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	高橋会長、増田副会長、石塚委員、小市委員、小宮山委員、塩野崎委員、渋谷委員、清水委員、関口委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、濱村委員、堀内委員、山崎委員、湯田委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進係長、堀内市民参加・協働推進係長、樋口市民参加・協働推進主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年3月6日

協議事項等

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しについて

- ・事務局から、素案シートの修正案について説明
- ・以下、協議

(会長): はじめに地域の特性について、意見を求めたい。

(委員): 地域の特性の二つ目の項目について、住宅地と高齢化を無理に結びつけている印象を受ける。高齢化は旧北国街道沿いだけに限ったことではないので、別項目で表現すべきだと思う。

(委員): 確かに西部地域は他の地域と比べ高齢化率は高いが、高齢化は市全体の問題なので、地域の特性として高齢化をについて記載する必要はないのではないか。

(委員): 三つ目の項目について、優良農地は年々減少しており、現在優良農地と呼べる場所があるのか疑問が残る。

(委員): 優良農地が減少していることから、西上田駅周辺という場所の特定をしない方が良いのではないかと。

(委員): 四つ目の項目について、国道という単語が二つ出てくるのは違和感があるので、冒頭の「国道18号側には」という文言を削除した方が良い。

(委員): 現状として「国道沿いには商業施設が集積している」とまで言えないような気がする。集積の表現を検討すべきである。

(会長): 次に取り組みの方向性について、何か意見がある者はいるか。

(委員): 取り組みの内容について、自治会館の運営方法を見直し、より利用しやすくするためにそれらについて記載してみてもどうか。

(委員): 各自治会館は、それぞれの自治会が運営しているため、地域協議会の立場としてそれを記載すべきでないと思う。ただ大切な内容であり、自治会館を西部公民館にしてみてもどうか。

(委員): 取り組みの内容 について、観光地を目指す余り、実際その地域に住んでいる方に迷惑がかかることが現状としてあるため、文言に気を遣うべきだと思う。

(委員): 観光についての文言が二つあるため、どちらかに絞るべきである。

(委員): 取り組みの内容 について、地域の防災機能と災害対策の整備・強化は、取り組み内容 の地域防犯力へ移した方が馴染む。

(委員): 取り組みの内容 について、地域の行事に参加してもらえるようにそれを学校の行事とするなど、学校と連携していくような文言を入れたい。

(委員): 地域の行事に参加される子どもたちが減少しているのは確かだが、授業の一環として位置付けるのは難しいと思うので、その部分は変更すべきだ。

(委員): 取り組みの内容 について、少子高齢化や人口減少を見据える受け身の形でなく、その中で対策をしていくことが大切だと思う。

(委員): 取り組みの内容 について、ボランティア団体をより住民へ周知し、利活用を図ることが必要であると思うので、そういう旨の文言が必要だと思う。

・事務局が今日の委員の提案をまとめ、次回最終案として提示することとした。

(2) 今後の予定

【次回日程】 平成27年3月25日(火) 午後6時から

4 その他 なし

5 閉会